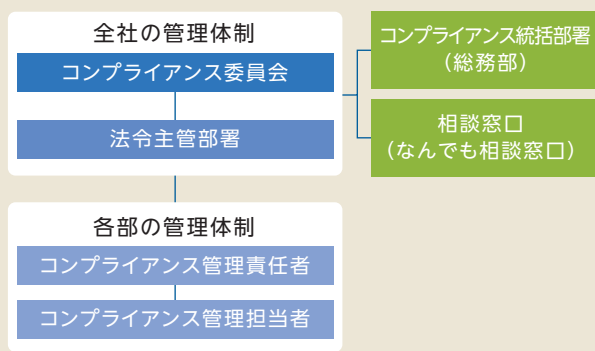


▶コンプライアンスの推進体制・仕組み

経営理念において「社会の一員として、法と倫理を遵守し自然・地域と共生する企業をめざす」ことを宣言し、法に留まらず、倫理、社会の期待に応えることを含めてコンプライアンス活動を進めています。コンプライアンスに関する重要な施策などを検討するために社長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置しています。また、日常の活動を支えるために法令主管部署および、各部にコンプライアンス管理責任者／管理担当者を設置することで、職場に適した活動が継続的に行われるようにしています。また、相談窓口により、問題の見落としがないようにきめ細かく対応しています。

社会の期待に応え、信頼される企業となるためには、社員一人ひとりが自覚と誇りを持って行動することが不可欠と考え、階層別・テーマ別研修の開催はもちろんのこと、日常で起こりうるコンプライアンス事例についても社内報およびニュースにて定期的に配信しています。また、毎年10月に実施する「コンプライアンス強調月間活動」では、職場でコンプライアンスについて討議する機会を設け、コンプライアンス意識の維持および向上を図っています。

■組織・体制図



▶機密管理と情報セキュリティ

【基本的な考え方】

当社は、機密情報の適切な管理が事業活動の重要な要素の一つと考えています。

お取引先様の営業・技術情報、社員の個人に関わる情報は、適切な管理・取り扱いをすべき資産であるとの認識に基づき、機密情報管理活動を推進しています。

【推進体制と取組事項】

当社では、「社員行動指針」に「機密情報は、規則に従って厳重に管理し、漏えいの防止につとめます。取引先の情報や個人情報の適切な保護につとめます。」と定め、各部に機密管理責任者、機密情報取扱者を置き、職場でのミーティングや自主点検を実施することで機密情報管理意識の向上につとめています。

また、オールトヨタセキュリティガイドライン(ATSG)に基づくルールの周知、点検を当社および国内外の連結子会社で実施しています。具体的な取組事例としては、パソコンの無断持ち出しおよび盗難の防止、システムによる電子データの外部記録媒体への書き出し制限などを実施しています。

▶リスク管理

自然災害をはじめとした会社環境を取り巻くリスクに対し、顕在化した場合の影響の低減、未然防止に全社で取り組んでいます。

近い将来での発生が予想されている大規模地震を想定し、「社員の生命・身体の安全」「地域の復旧支援」「速やかな生産復旧」を目的とした各種活動に力を入れています。

■BCPの取組み

社内にBCP推進組織を設置し、大規模地震を想定した建屋の耐震措置や設備の転倒・金型の落下防止など被害を最小限に抑えるための減災対策を計画的に進めております。また実践的な生産復旧訓練を通し、有事の際に迅速な行動ができる力を養うことでBCPのレベルアップを図っています。



生産復旧訓練

■全社一斉避難訓練

人命を第一に、全社一斉避難訓練では職場単位で社員の安否確認、建屋、設備の被害状況の報告訓練を実施。

また、日頃から、防災組織の役割を持った係員を中心とした消火、救出・救護などの訓練を全工場で継続的に行い、有事に機能する職場・人づくりをめざしています。

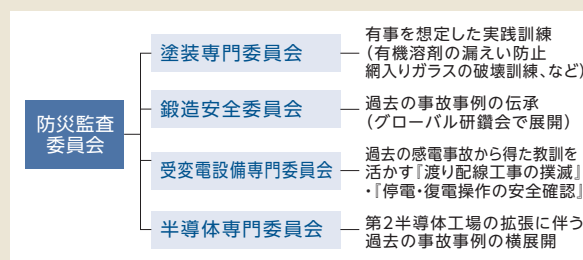


一斉避難訓練

■防災監査委員会の設置

自主点検結果に基づいて、役員と専門委員会のメンバーによる監査を実施しています。併せて、年度ごとに重点テーマを設けて活動しています。(実践訓練・研鑽会・相互監査、など)また、他社で事故が起きた場合などに、緊急特別点検も実施しています。

■防災監査委員会組織図と重点活動



<各専門委員会の活動状況>

▶塗装専門委員会



実践訓練の映像視聴

▶鍛造安全委員会



豊川消防署との合同訓練

▶受変電設備専門委員会



受変電設備勉強会

▶半導体専門委員会



ガス漏えい時の救出訓練